

# 令和6年度 学校評価についてのまとめ

栃木第三小学校

## 【成果と課題・今後の取組について】

- ・児童・保護者共通で評価が高い項目は、「やさしい子」の「優しい気持ちが育ってきている」で、児童の「道徳の授業で学んだことを生活に生かす」です。道徳教育に力を入れてきた成果が、徐々に表れてきたものと考えられます。また、児童同士で話し合い、自分の考えを伝えあう活動が道徳以外の教科の場面でも多くなってきたことで、自分の考えを深めていくことができたという回答する児童が多くいました。今後も、継続して取り組んでいきます。
- ・児童の評価が大きく伸びたのが、「進んで読書」です。全校児童の本の貸し出し冊数も、今年度、大きく増えており、読書に親しむ児童が目に見えて増えている現状です。これは、担任と学校図書事務員とが授業に役立つ本についての情報を共有することで、これまで以上に効果的な図書館利用ができてきている成果とも言えます。家庭での読書の様子にあまり変化は見られないのかもしれませんが、学校で本に親しむ機会は確実に増えています。
- ・児童の評価で昨年度より下がったものに、「決まりやルールを守って安全に生活」があります。これは、昨年度から取り組んできた道徳教育の充実により、児童の中に道徳性が養われ、児童それぞれの「決まりを守る」基準が明確になったことで、自己評価の基準が高くなったためではないかと考えます。道徳の授業等で学んだことを繰り返し丁寧にフィードバックしながら、児童の実践化や自覚化を図りたいと考えております。
- ・「体育などに目標をもって進んで取り組む」の値が昨年度より大きく下がっています。これは、今年度、運動会を春に実施した影響が大きいと考えます。昨年度までは、秋に運動会、そして持久走練習と、体育的行事が続けて行われていました。今年度は、1学期に運動会を終えており、2学期は比較的体育的行事や体力づくりに長期間取り組む機会が少なかったように感じたのかもしれませんが。その上、夏の異常な猛暑もあり、屋外での活動がこれまで以上に制限され、体育の授業にも少なからず影響があったのも事実です。体育的行事のあるなしに関わらず、学習カードやICT機器を効果的に活用して評価につなげていきたいと考えております。
- ・今年度も、行事のあり方、登下校の安全、児童とのかかわり方等について、多くのご意見をいただきました。真摯に受け止め、改善を図れるように対応を検討してまいります。今後とも保護者の皆様のご協力をお願いいたします。